

牛久：学校周辺に見る自然

第34号 牛久二小

2014年3月10日発行

＜ 冬の生きもの観察 植物の冬ごし ～冬に咲く花とコケのなかま＞

1/22、牛久二小4年生との冬の生きもの観察。今回は、寒い冬に咲いていた花と、コケのなかまを紹介しましょう。



とても寒そうな中、日差しを受けて花を咲かせるサザンカ(左上)、オオイヌノフグリ(右上)、ノボロギク(下左)、ホトケノザ(下中)、ヒメオドリコソウ(下右)。



サザンカの花はツバキに似ていますが、花が終わるとツバキはえのところからほとんど落ちるのにサザンカは花びらが1枚ずつひらひら落ちます。その他の違いも見つけてみましょう。

他のぎっ草の花は何度ものせていますので、ここでは写真だけにします。

木のみきのコケにたくさんの水玉がきれいでした。その先には、タネのようになかまをふやすはたらきがある小さな粒がつまった袋がついています。

【理科支援員：宮内】

木のみきのヒナノハイゴケ(右上)、田んぼのあぜに生えるアゼゴケ(右下)。